

論壇 Argument



●美唄歯科医師会 会長
孫 泰一

「PM2.5について」

私事ですが8月に弟を亡くしました。肺がんでした。
彼は約40年間のスモーカーで、禁煙に成功したのですが、その3か月後に肺がんで余命1年の宣告を受けていました。

7月25日の札幌の街はガスで包まれました。皆さんの記憶に新しいことだと思います。周りの人達の間では「中国のPM2.5のためでは」との話で持ちきりでしたが、実際はロシアの森林火災だったようです。私自身も喉や目に違和感を感じました。

その時のPM2.5は札幌市では午後4時で、観測開始以来最高の1m³（立方メートル）当たり155μgを記録したとのことでした。

日本のPM2.5の環境基準値は2009年に環境省から告示された1日平均値35μg/m³以下で、70μgを超えると外出に際しての注意喚起をします。

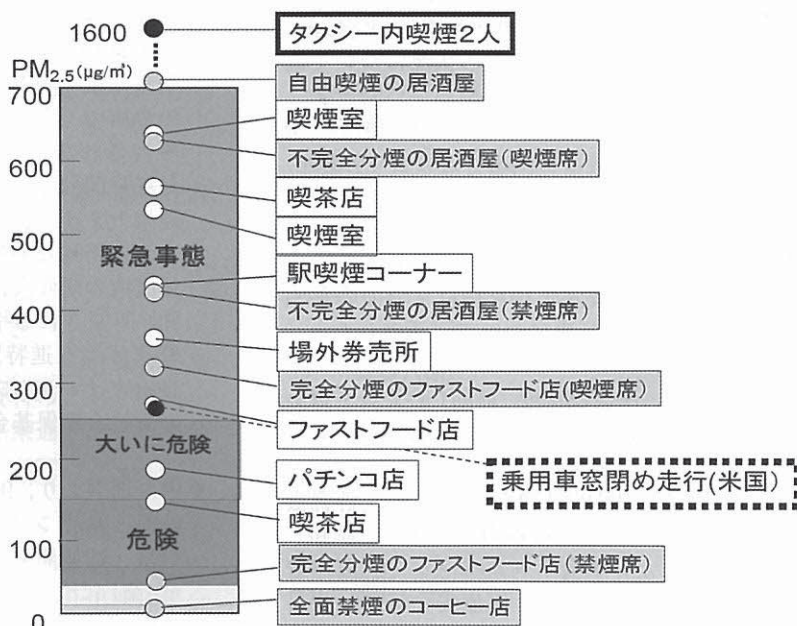
中国ではピーク時にはPM2.5の値が300~600μgもあり、そこで生活する人は大変だと思われますし、私達が時折目にするTV報道でも深刻な状況のようです。

ただ現状の日本ではこの中国のPM2.5の環境汚染よりも、より深刻な状況があります。それは喫煙です。

完全分煙の禁煙席でさえ50μg/m³の濃度があります。

分煙しない喫茶店が150μg、不完全分煙の居酒屋の喫煙席では420μg、自由喫煙の居酒屋では700μgを超えます。

日本では中国のPM2.5よりも、あなたの隣の喫煙者の方がPM2.5の大きな発生源のようです。



(日本禁煙学会サイトより)